

注 記

- 写真 1 昭和 32 年 12 月に起工した三階増築工事の光景
写真 2 昭和 33 年 3 月 20 日の三階増築竣工祝賀会 建物全景
写真 3 談話室（応接室を増築を機会に改称）
写真 4 会議室
写真 5 講堂
写真 6 図書室
写真 7 竣工祝賀会の一コマ（中央 兼子副会長、右 齊藤正次会員、左 日仏会館長）
写真 8 竣工後玄関ヒサシに取付られた地学会館の文字板（写真 2 にはまだない。）
写真 9 極楽鳥剥製（ラベルに「故兼子勝氏 寄贈（1958.9）」）

注）故とあるが逝去は 1981 年（地学雑誌 90 434）

写真 10 極楽鳥の横姿

資料 竣工年に作成した協会リーフレット

リーフレット表紙には三階を増築した会館の姿が描かれている。年譜には、事務所の建設、移転の経緯が記載され、講演会場を備えた独自の会館をもつことが重視されてきたことがうかがえる。

第二次世界大戦後の協会財政を增强するため、会館に三階を増築し、賃貸借料収入を増やした。その発案から完成までの経緯は次の通り。

1. 1956.7.28 役員会 経営上計理に関し貸室との関係を説明（地学雑誌 65 148）
2. 1956.11.19 役員会 食後、今後のあり方について議論（地学雑誌 66 57）
3. 1957.2.20 役員会・評議員会 館内整備拡充に関する件（次年度に三階を増築し、協会の積極的な活動の資にすることを議論）（地学雑誌 66 58）
4. 1957.4.26 役員会 三階増築に関する件（地学雑誌 66 136）
5. 1957.5.17 役員会理事会 三階増築に関する件（会長より鹿島組へ依頼、組により現地視察を予定、部屋割等は倶楽部式より貸室としての意見が主）（地学雑誌 66 136）
6. 1957.5.17 役員会評議員会 その他として三階増築について会長より説明（地学雑誌 66 136）
7. 1957.8.7 役員会理事会 三階増築に関する件（地学雑誌 66 215）

8. 1957.8.30 評議員会 建設資金の件 (地学雑誌 66 215)
9. 1957.10.23 評議員会 建設資金の件承認 (地学雑誌 66 215-216)
10. 1957.10.23 臨時総会 三階増築に関する件 (会長より東京地学協会の将来の基礎のために三階増築に関する委細を説明、特に川北禎一氏並びに顧問として迎えらるる渋沢敬三氏の好意に感謝、村越主幹より詳細にわたる三階増築迄の経過を説明 全員承認) (地学雑誌 66 216)
11. 1957.11.9 評議員会 テレビとの貸室条項の承認、銀行との借入金に対する契約の承認 (地学雑誌 66 216)
12. 1957.12 起工 (注: 日付はこの写真アルバムの注記による。)
13. 1958.1.16 理事会 増築に関する諸件 (第一銀行よりの借入金 11.30 完了、テレビとの賃貸契約 12 月完了、一部末端に関する覚書交換、鹿島建設に着工手金渡した。) (地学雑誌 66 260)
14. 1958.2.13 理事会 旧室の壁修理補修の件 (一階の賃貸料を見合いとして可決)、一階事務室賃貸の件 (日本鉱山地質学会の了解の上新大阪テレビに賃貸を決定)、テレビとの覚書に依る件 (専門の管理人設置を了解)、応接室内装飾に関する件 (呼称を談話室と改め、専門家に委託)、会館名称に関する件 (地学会館と決定) (地学雑誌 66 260)
15. 1958.3.20 増築披露式 鹿島建設及び島藤建設工業に感謝状 (地学雑誌 67 57)
16. 1958.4.18 理事会 地学会館案内板掲示の件 (地学雑誌 67 110)
17. 1958.8.14 理事会 三階増築による建物消防条例に依り火災報知機設置の件、兼子副会長外 1 名インドネシア出張につき歓送会 (地学雑誌 67 170)
(注: この出張で写真 9 の極楽鳥を持帰ったか?)